

ステップ①

・「まちなみづくり」の必要性と基礎資料の共有

●2023年6月28日(水)



ステップ②

・整備イメージの精度UP!

●2023年7月中旬(予定)



ステップ③

・整備方針のまとめ

●2023年8月上旬(予定)



ステップ④

・(仮称)まちなみづくりサポートブック たたき案の作成

●2023年8月下旬(予定)



ステップ⑤

・地域WS-(仮称)まちなみづくりサポートブック たたき案の紹介

●2023年9月(予定)



■地域WS以降

・(仮称)まちなみづくりサポートブックの熟度UP!

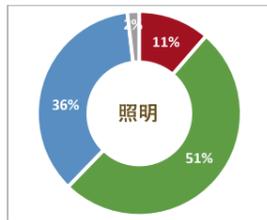
●引き続き、検討継続!

いわき湯本温泉のまちイメージの分析・抽出結果

◆みゆき山

【分析結果（まちの声・地域WSより）】

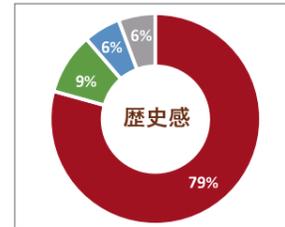
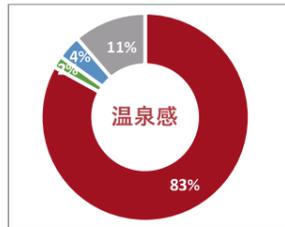
- 見てもよし、見られても良しの安全な公園
- フラや炭鉱に依存しない四季の山
- 歩いたり、眺めたり立ち止まったり色々な発見ができる植栽・照明
- みんなが思い思いに過ごせる広場



◆支所跡地と温泉神社

【分析結果（まちの声・地域WSより）】

- 温泉街の真ん中に生まれる、新しい温泉街の中心地
- 五感で感じる神妙な自然と温泉
- 雰囲気伝える歴史感のある照明演出
- 重厚な温泉神社を背景にイベントのギャップ



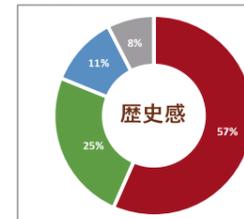
●凡例【旗揚げ分析】

- 赤旗 (イメージが強い)
- 緑旗 (イメージが普通)
- 青旗 (イメージが弱い)
- 不明

◆表町通り

【分析結果（まちの声・地域WSより）】

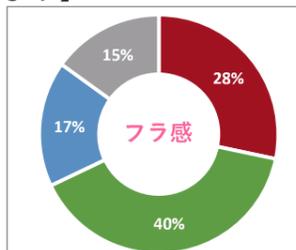
- 歩きやすい温泉神社の参道空間
- 安全で情緒あふれる夜間景観を演出する照明
- 散りばめられた滞留空間と要所で表現する温泉街の記憶



◆駅前緑地 (Aki ち)

【分析結果（まちの声・地域WSより）】

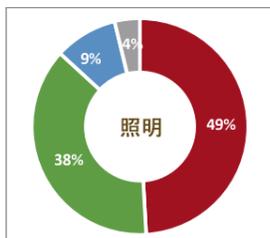
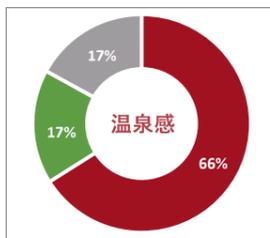
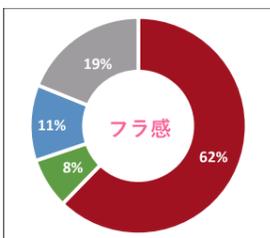
- 歩行者ファーストの景観軸とシンボリックな階段
- いつもの湯本を彩るイベントスペース
- 駅前から続く湯けむりとみゆき山へと誘う照明
- みゆき山への祈りのフラ



◆駅前広場・交流拠点

【分析結果（まちの声・地域WSより）】

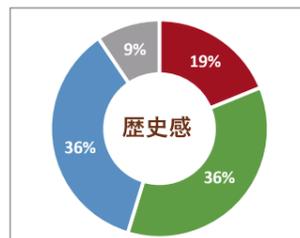
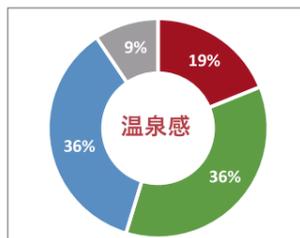
- 温泉と公共サービスのかげあわせにより生まれ変わる駅前広場
- 魅せるフラと背景にひろがる南国と温泉情緒
- ハレの日の舞台空間
- 視界が開け、思い思いの時間を過ごせるマイプレイス
- 駅前広場からみゆき山へとつながる目抜き通り
- 次世代モビリティ導入を念頭にいたまちの回遊を促す交通ロータリー
- 安全安心の照度確保



◆軌道みち (吹谷地区)

【分析結果（まちの声・地域WSより）】

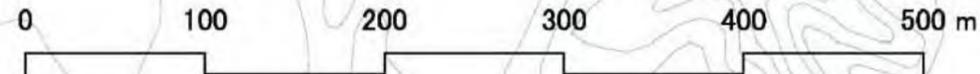
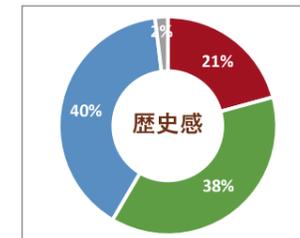
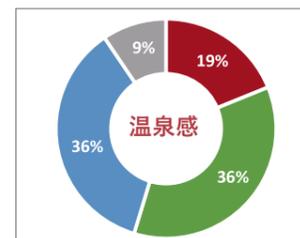
- 駅前広場、みゆき山、温泉神社の熱をさませないみちの演出
- 歩行者中心の旅館街
- 夕暮れ時のそぞろ歩きを促す照明
- 歩くと気付く常盤炭鉱のおもかげ



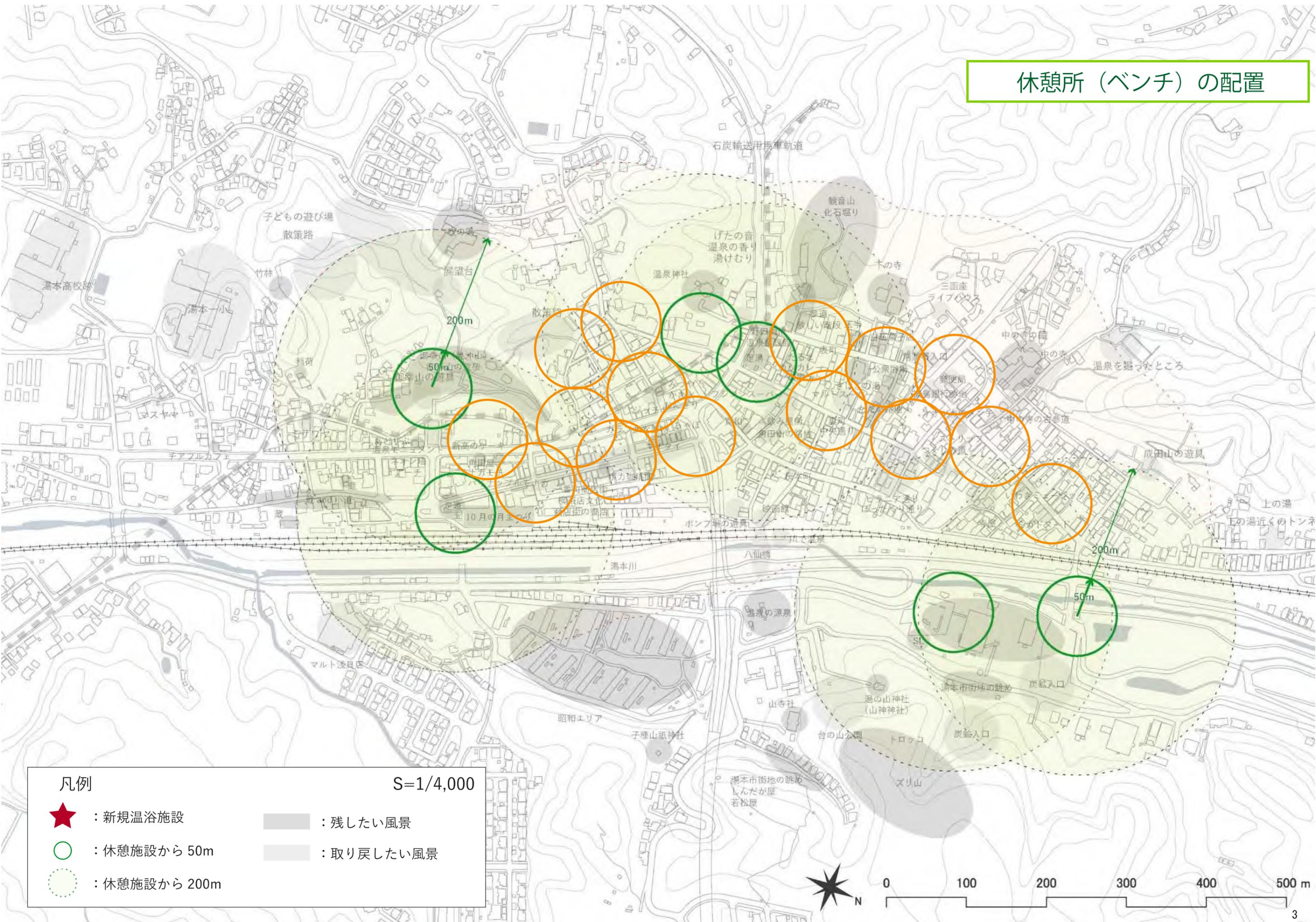
◆中央通り (裏町通り)

【分析結果（まちの声・地域WSより）】

- 地元に寄り添う沿道空間
- まちの回遊を助ける休憩スペース
- 安心できる路地空間
- 地域の記憶

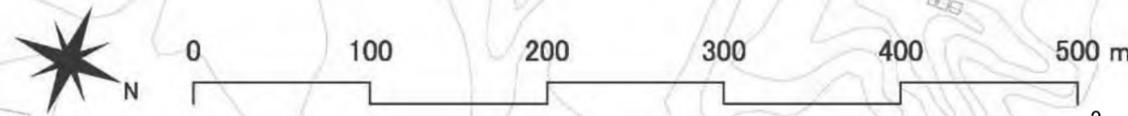


休憩所（ベンチ）の配置

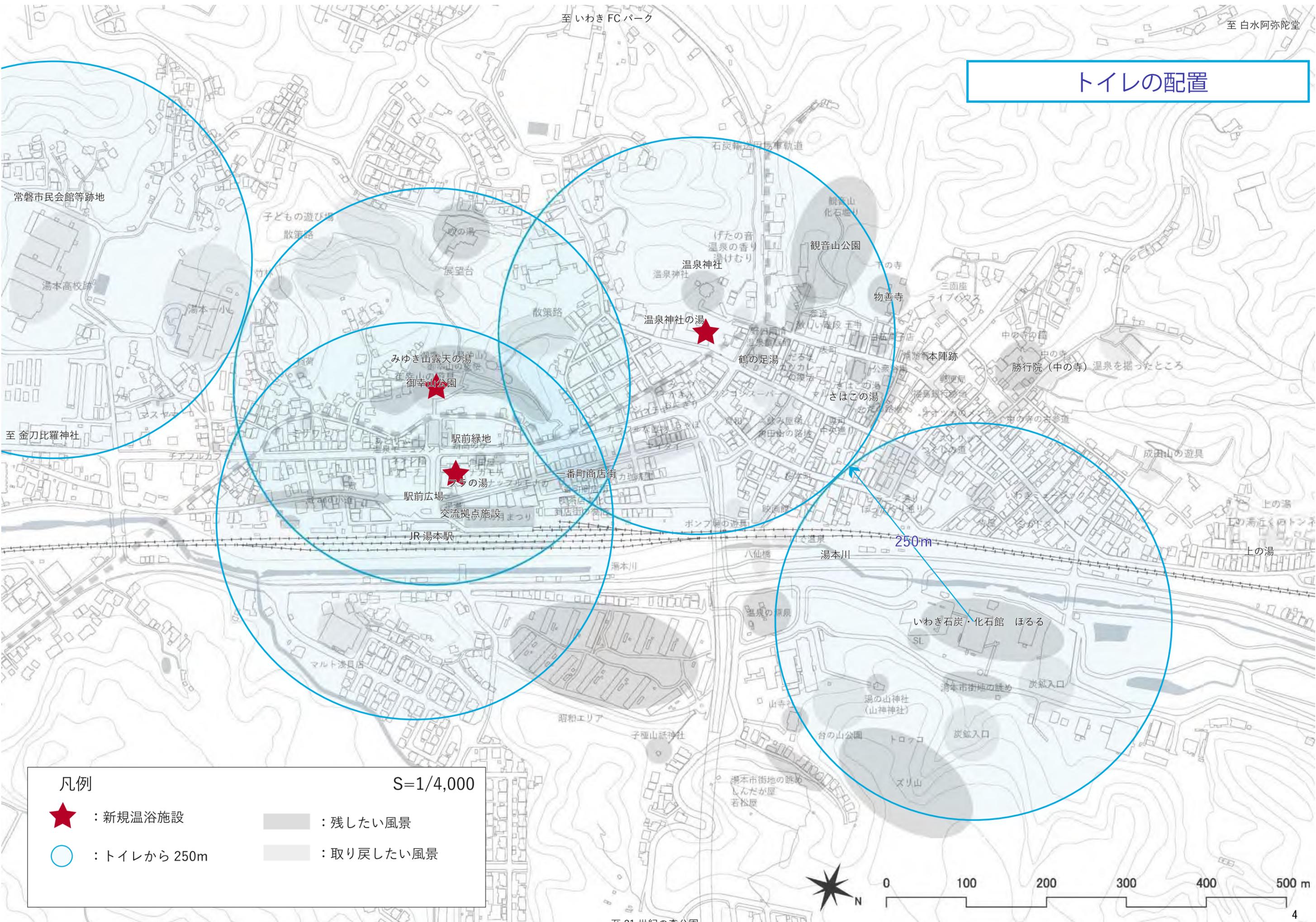


凡例 S=1/4,000

★	: 新規温浴施設	■	: 残したい風景
○	: 休憩施設から 50m	■	: 取り戻したい風景
○	: 休憩施設から 200m		

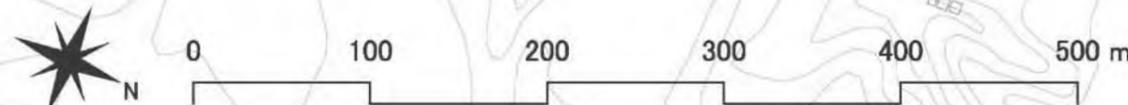


トイレの配置



凡例 S=1/4,000

	: 新規温浴施設		: 残したい風景
	: トイレから 250m		: 取り戻したい風景



いわき湯本温泉まちの歴史 資源調査結果

湯本市街 郵便絵はがき (大正時代):
佐々木商店発行
常磐炭鉱時代のいわき湯本温泉の街並み



御幸山の風景 (上: S36年, S40年)
招魂碑周辺からの眺望が開けている



御幸山上空からの湯本町 (S30年代)
S31年青年会が散策路を作成、
桜の苗木を100本植樹



温泉神社
いわき湯本温泉の鎮守として
1300年の歴史をもつ



温泉神社前の表町通り (S30, 坂本雄一氏撮影)
過去にアーチが設置され温泉宿場町の
メイン通りとしての賑わいがみられた



Guesthouse & Kitchen Hace
往時の建物をリノベーションしたゲストハウス
地域の「縁」になっている



松柏館
江戸時代末期の本陣のおもかげを
感じる温泉旅館



惣善寺 (下の寺) 参道
温泉が由縁で創建された下の寺の参道



勝行院 (中の寺) 参道
地域から愛されている中の寺の参道



勝行院 (中の寺) の古参道
趣があり、地域の心象風景でもある



磐城炭鉱軌道
陸前浜街道

さはこの湯
江戸時代末期の建築様式を模した
デザインの公衆浴場



絵葉書 品川白煉瓦湯本支工場付近
(M40年頃): ホテル斎菊所蔵



kyoten coffee
地域の人々が集まる拠点であり、
『裏湯本』を盛り上げている



三函地区に残る古建築
特徴的な建築様式や意匠がみられる



蔵
常磐炭鉱時代から古く残る蔵



みゆき山の全景 (上: H18, 下: H31)
近年、樹木が生茂っており
鬱蒼とした雰囲気になっている



三函湯本勝地名蹟 (M45年頃、斎菊勝之介)
禿山に老松が印象的なみゆき山



ピラニア通り
昭和レトロなおもかげを残し、
新たな活動も多く生まれている



- ◆凡例
- 古建築
 - 旅館・温浴施設
 - 昭和レトロなまちなみ・心象風景
 - 社寺・寺院



いわき湯本温泉の特徴的な建築・施設の様式・意匠まとめ 調査資料4

NO.	建築・施設の様式・意匠		写真・イメージ			
	タイプ	具体の様式・意匠				
1	壁面	杉 鎧張り羽目板				
2	壁面	小石露出洗い出し仕上げ, 大谷石				
3	壁面	白漆喰塗壁				
4	屋根材	瓦				
5	舗装	白御影石と 三和土まばら 洗い出し舗装				
6	舗装	コンクリート 洗い出し舗装				
7	擁壁	石積み擁壁				

色々な舗装

	石張舗装	インターロッキング舗装 (擬石舗装)	スタンプコンクリート舗装	アスファルト舗装
整備 イメージ				
経年劣化 イメージ				
歩きやすさ	△：石が欠けることがある。 下駄の音が良く響く。	△：場合によってはたつきができる。 比較的下駄の音が良く響く。	△：多少の凹凸ができる。	○：歩きやすい。
見栄え	◎：上質感がある。	○：ブロックの種類が多数あり、石風の 仕上げもできる。	△：石張風の表現ができる。 テカリが出る等、どこなく嘘っぽい 仕上がりになる。	○：石張風の表現ができる。 時間が経つとひび割れができる。
補修 しやすさ	○：部分的に破損箇所を補修できる。	○：部分的に破損箇所を補修できる。	△：部分補修をすると境界が目立つ 色が剥げるとコンクリートの色が出る	△：部分補修をすると境界が目立つ
その他 コメント	部分的に石張にすることで、車道部と歩道 部を緩く区切り、車が走行しづらい。	比較的交通量の多い表町通りなどでは、路 面の欠損のリスクが高い。	温泉街の情緒ある表現にするのは難しい。	部分補修が生じた際に見栄えに影響が出る 可能性がある。